

サステナビリティボンドへの投資を通じてSDGsに貢献しています

熊取町は、持続可能な開発目標（SDGs）に寄与するため、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（以下「鉄道・運輸機構」）が発行するサステナビリティボンドへの投資を実施しました。

サステナビリティボンドとは、調達資金の用途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び、②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券で、鉄道・運輸機構の「鉄道建設業務」と「船舶共有建造業務」を通じて、SDGs（2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標）に貢献するものです。

今後とも、適切なリスク管理のもとで、SDGsの達成に貢献するプロジェクトへの投資を通じて持続可能な社会経済、環境の実現に取り組んでいきたいと考えています。

令和元年11月